

授業科目	* 応用栄養学 I (B クラス)				単位	2		
履 修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT21602J		
開講年次	2 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	天本 理恵							
授業概要	管理栄養士、栄養士として具備すべき栄養マネジメントについて概説する。食事摂取基準 2015 年版の指標の概念、策定の科学的根拠(策定の基礎理論)について解説する、さらに活用の基本的事項についても概説する。食事摂取基準に関しては、1 年次の「栄養学概説」の復習も兼ねる。ライフステージ別の身体・精神面における特徴や栄養・食生活の特性、問題点などを取り上げ、各ライフステージに適した栄養管理について解説する、栄養管理にはライフステージ別の食事摂取基準の解説も含む。応用栄養学1ではライフステージのうち、母性(妊娠・授乳期)および乳児期について取り上げ、妊婦、授乳婦における母体の生理的変化や栄養管理の必要性等、乳児期の成長、発達や生理的変化等について解説する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養マネジメントの概要を説明できる(DP1-2,DP4-1,DP5-1)。</li> <li>2. エネルギーと各栄養素の指標の概念、食事摂取基準策定の科学的根拠(策定の基礎理論)および活用の基礎理論について1年次の「栄養学概説」の内容も含め説明できる(DP1-2,DP4-1,DP5-1)。</li> <li>3. 妊娠期、授乳期における生理、生化学的変化に応じた栄養の特性、この時期に起こりやすい疾病の予防・改善のための栄養管理の方法について説明できる(DP1-2,DP3-1,DP4-1,DP5-1)。さらに、食事摂取基準を活用した妊娠、授乳期の栄養マネジメントについて述べるができる(DP1-2,DP2-1)。</li> <li>4. 新生児期、乳児期の栄養の基本や心身の発育と栄養の関連性、消化吸収能を主とした小児の栄養生理学的特徴および乳児期における栄養関連疾患について説明できる(DP1-2,DP3-1,DP4-1,DP5-1)。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	90	5	0	0	5(14回目視聴覚教材を視聴しての学び、感想)	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	60						60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20						20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10						10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)		5					5	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					5		5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

<p>1. 栄養マネジメントの概要を理解し、応用栄養学以外の他の栄養学関連教科(臨床栄養、公衆栄養、栄養教育、給食経営管理等)にも応用できる。</p> <p>2. エネルギーと各栄養素の食事摂取基準 2015 年版の指標の概念、策定の科学的根拠および活用の基礎理論について説明でき、各ライフステージの栄養マネジメントに活用できる。</p> <p>3. 妊娠期、授乳期における生理、生化学的変化に応じた栄養の特性、この時期に起こりやすい疾病の予防・改善のための栄養管理の方法について説明でき、食事摂取基準を活用した妊娠、授乳期の栄養マネジメントを設計でき</p>		<p>1. 栄養マネジメントの概要を理解し説明できる。</p> <p>2. エネルギーと各栄養素の食事摂取基準 2015 年版における指標の概念、策定の科学的根拠(策定の基礎理論)および活用の基礎理論について説明できる。</p> <p>3. 妊娠期、授乳期における生理、生化学的変化に応じた栄養の特性、この時期に起こりやすい疾病の予防・改善のための栄養管理の方法について説明できる。さらに、食事摂取基準を活用した妊娠、授乳期の栄養マネジメントについて述べるができる。</p> <p>4. 新生児期、乳児期の栄養の基本や心身の発育と栄養の関連性、消化吸収能を主とした小</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	栄養マネジメント(1) 栄養マネジメントの概念、栄養アセスメントについて概説する。	オリエンテーション 講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30分 復習 30分
2	栄養マネジメント(2) 栄養アセスメント(身体計測、臨床検査)について解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30分 復習 30分
3	栄養マネジメント(3) 栄養アセスメント(臨床検査、問診観察、食事調査など)、栄養ケアについて解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30分 復習 30分
4	・栄養マネジメント(4) 栄養アセスメントにおける評価の種類、方法について解説する。 ・食事摂取基準 2015 年版策定の科学的根拠(1) 食事摂取基準の概念、活用の基礎理論について解説する。1 年次の「栄養学概説」の復習を兼ねる。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30分 復習 30分
5	食事摂取基準 2015 年版策定の科学的根拠(2) エネルギー、エネルギー産生栄養素必要量策定の基礎理論について解説する。 1 年次の「栄養学概説」の復習を兼ねる。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30分 復習 30分
6	食事摂取基準 2015 年版策定の科学的根拠(3) 脂溶性、水溶性ビタミン必要量策定の基礎理論について解説する。 1 年次の「栄養学概説」の復習を兼ねる。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配	予習 15~30分 復習 30分

			布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	
7	食事摂取基準 2015 年版策定の科学的根拠(4) 多量および微量ミネラル必要量策定の基礎理論について解説する。 1 年次の「栄養学概説」の復習を兼ねる。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30 分 復習 30 分
8	成長・発達、加齢 出生から高齢期までの流れについて、 成長、発達、加齢と栄養摂取を関連させ、解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30 分 復習 30 分
9	母性(妊娠期①)栄養(1) 妊娠、母体・胎児の生理的変化と母体の栄養摂取に関して解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30 分 復習 30 分
10	母性(妊娠期②)栄養(2) 妊娠期における栄養アセスメント、栄養補給法、食事摂取基準 2015 年版(妊娠期の付加量など)について解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30 分 復習 30 分
11	母性(妊娠期③)栄養(3) 妊娠期における疾患、その栄養療法等について解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30 分 復習 30 分
12	母性(授乳期①)栄養(4) 授乳婦の生理的特徴、食事摂取基準 2015 年版(授乳期の付加量)等について解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30 分 復習 30 分
13	母性(授乳期②)栄養(5) 授乳期における疾患、栄養アセスメント、授乳・離乳支援ガイド(厚生労働省)の授乳支援について解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~30 分 復習 30 分
14	新生児期・乳児期の栄養(1) 新生児・乳児の生理・生化学的特徴および哺乳反射(視聴覚教材による学習を含む)について解説する。	講義 乳児の口腔機能の 発達の視聴覚教材 を見てのコメント記	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイ	予習 15~30 分 復習 30

		入(小レポート)	ントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	分
15	新生児期・乳児期の栄養(2) 新生児、乳児の生理機能の発達、栄養アセスメント、乳児期の疾患等について解説する。	講義	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:応用栄養学1にて配布した全スライド資料、教科書を復習し、試験に臨む。	予習 15~30分 復習 30分~120分
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	ライフステージ別の栄養管理では、人体の構造と機能および疾病の成り立ちに該当する科目(特に解剖学・生理学、疾病診断治療学)の知識が必要になります。また、食事摂取基準 2015年版を学ぶ上で、「栄養学概説」、「基礎栄養学」および「栄養疫学」の知識が必要になります。1年次に学んだ「栄養学概説」の復習をしておくようにして下さい。			
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「イラスト 応用栄養学」田村 明 編 東京教学社</li> <li>・「厚生労働省策定 日本人の食事摂取基準 2015年版」第一出版 K.K</li> </ul> 必要に応じて参考資料とパワーポイントの資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「栄養ケア・マネジメント 基礎と概念」木戸康博・小倉嘉夫・真鍋祐之編 医歯薬出版株式会社</li> <li>・「食事摂取基準 理論と活用」第2版 鈴木 公・木戸康博編 医歯薬出版株式会社</li> <li>・妊産婦のための食生活指針 厚生労働省</li> <li>・授乳・離乳支援ガイド 厚生労働省</li> </ul>			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	応用栄養学は栄養マネジメントへの理解を深め、さらに皆さんが歩んできたライフステージと、加齢とともにこれから歩いていくライフステージについて学び、それを生活習慣の改善や栄養指導に活かす教科です。日々の生活から多くのことを吸収して、この講義で学んだことと関連付け、栄養士・管理栄養士になるために必要な知識を身につけて欲しいと思います。授業以外の学習方法としては、まず教科書を読み予習してきてください。復習は、配布した講義スライドと教科書を見直すことを最低限行って下さい。
達成度評価に関するコメント	試験、小テスト、小レポートの内容に関しては、講義の中で指示します。小レポートは、視聴覚教材を視聴した時に学び得たことを書いてもらう予定です。